

ジオパーク講座

「世界遺産『北海道と北東北の縄文遺跡群』に残る大地の記憶」 (全2回) 開催します！

2021年7月、「北黄金貝塚」(伊達市)と「入江・高砂貝塚」(洞爺湖町)は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」を構成する遺跡として世界文化遺産に登録されました。

縄文時代の遺跡は日本列島各地で発見され、研究が続けられています。縄文人の暮らしはどこまで明らかになったのか、地形と遺跡に何か関係はあるのか？ 縄文文化を知り、大地との関係を読み解く全2回の講座を開催します。どちらか1回の参加も可能です。ぜひご参加ください！



きたこかね 第1回 「北黄金貝塚」

噴火湾をのぞむ丘の上にある、約7,000～5,500年前の貝塚と集落の跡。精巧な骨角器(動物の骨や角で作った道具)が発見されています。縄文人は気候変動をどう乗り越えていったのでしょうか？

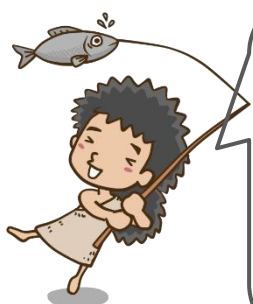
- ◇ 開催日時 令和3年11月7日(日) 9:30～15:00
- ◇ 会場 北黄金貝塚情報センター / 北黄金貝塚公園
- ◇ 講師 伊達市教育委員会 学芸員 永谷幸人 さん



いりえ たかさご 第2回 「入江・高砂貝塚」

有珠山の西麓にある入江貝塚(約3,800年前)と、高砂貝塚(約3,000年前)。貝塚やお墓から、当時の風習や考え方を物語る品々が見つかります。縄文人はどんな「地の利」を生かして暮らしていたのか、遺跡を巡って紐解きます！

- ◇ 開催日時 令和3年11月13日(土) 9:30～15:00
- ◇ 会場 入江・高砂貝塚館 / 入江・高砂貝塚
- ◇ 講師 洞爺湖町教育委員会 学芸員 角田隆志 さん



〈お申込み方法〉

- いずれの講座も無料。各回20名までのため、お申込みが必要です。
TEL (0142) 74-3015 か、mail info@toya-usu-geopark.org までどうぞ。
- 午前中は屋内でお話を聞き、午後からは野外で遺跡見学があります。
- 当日体温測定、手指消毒、マスクの着用をお願いします。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、中止になる場合があります。